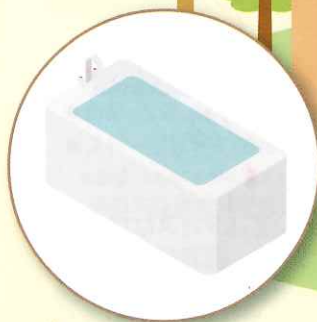
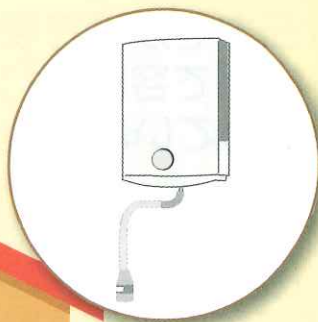
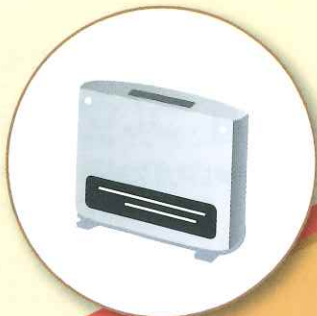


LP ガス安心ガイド

安心で快適な生活を送るための豆知識

大切な
お知らせ
ご家族皆様で
お読みください



■店名・住所・緊急時の連絡先

一般社団法人 愛媛県 LP ガス協会

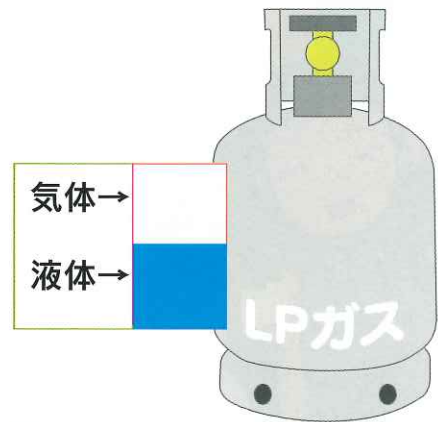
このパンフレットは法律第 27 条第 1 項第 3 号
(周知義務) に基づき、ご家族にお届けするものです。

知ってるようで、知らない？



圧力をかけて液化した状態で容器(ボンベ)に入っています。

- 容器に入っている液化したLPガスが気化すると、約250倍の体積になります。
- 日光の照射などで容器の温度が高くなると、圧力が上昇して安全弁が作動し、空気中にLPガスを放出することがあります。また、LPガスが皮膚に触れると凍傷になることがあります。



大切に
使おうね！



災害に強くクリーンなエネルギーです。

燃焼にはたくさんの空気が必要です。

- LPガスが燃焼するためには、たくさんの空気が必要です。
(プロパン1に対して24倍の空気が必要)
室内でLPガスを使用する時は、十分に換気(「給気」と「排気」)をしてください。
- 換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)が発生しますので十分注意してください。

- 地震などの大規模な災害において、LPガスは他のエネルギーと比べいち早く完全復旧し、避難所や被災者仮設住宅の調理・給湯などのエネルギー源としてすぐに対応できることから、多くの人々の暮らしの助けとなりました。その実績からLPガスは「災害に強い」と改めて見直されています。
- LPガスは、石炭や石油など、他の化石エネルギーと比べて相対的に環境負荷の小さなクリーンエネルギーであり、温室効果ガス削減の即戦力として期待されています。

住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

消防法の改正により、平成23年6月1日から新築・既存を問わず全ての住宅で設置義務化されています。自宅にきちんと設置されているか、もう一度確認しておきましょう。



安心して使うためのポイント

正しく使っていますか？

屋内に設置されたガス瞬間湯沸器の再点火操作に関する注意点



- 屋内に設置されたガス瞬間湯沸器が、点火の後、自動的に消火する現象が繰り返し発生する場合には、再点火は行わないでください。不完全燃焼を起こしている可能性があります。
- 繰り返し点火操作を行った結果、不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故で死亡したケースがあります。
- 点火後、自動的に消火する場合は、ただちに使用を中止し、ガス器具の購入先やLPガス販売店にご連絡ください。

ガス漏れ警報器に関する注意点

⚠ ガス警報器のご使用にあたって

- 警報器が適正な位置に設置されているかを確認しましょう。
- 警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- 警報器の周りに物を置かないようにしましょう。
- 警報器が交換期限内のものかを確認しましょう。

※共同住宅、学校、病院などの人が多く集まる施設、地下室等に燃焼機器が設置されている場合には、原則として法律によりガス警報器(LPガス用)の設置が義務づけられています。

こんな時はLPガス販売店にご連絡ください

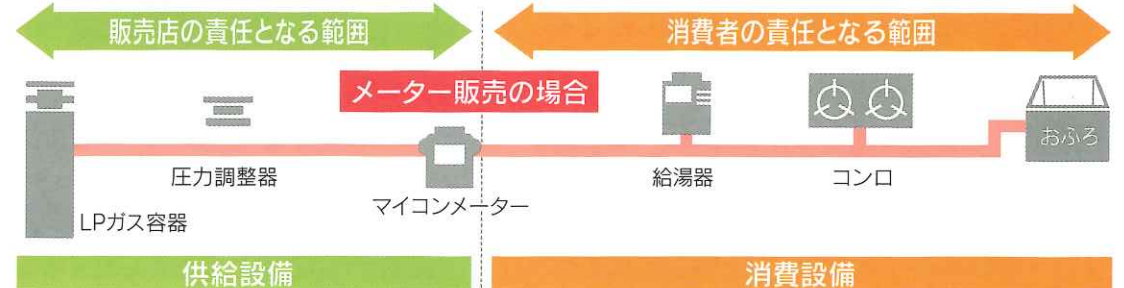
- LPガス設備の工事や新しくガス器具を取り付ける時、または外す時。
 - ガス以外の工事(水道工事や家の増改築など)を行う時。
 - 新築・改築・転居などで、新しくガスを使用する時、またはやめる時。
 - ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難な時。
- ※配管・ふる釜・大型給湯器、煙突などの工事を行うには、法律上の資格が必要です。
(連絡先は表紙に記載しています。)

安心・安全のための点検・調査にご協力ください

- みなさまの安心・安全のため、LPガス販売店または、販売店から依頼を受けた保安機関が、液化石油ガス法に基づき、LPガス設備などの点検・調査を定期的に行います。ご協力をお願いいたします。
- 点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力ください。

日頃の安全管理について

質量販売の場合
8kg以下もしくはカップリング機器付きは10kg以下



容器からマイコンメーターまでは、LPガス販売店が責任を持って安全管理します。

マイコンメーターの出口からガス機器まで(メーターのない場合は容器からガス機器まで)の管理責任は、お客様にあります。

LP ガスの正しい使い方

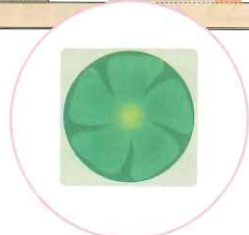
笑顔いっぱい。素敵な毎日のために。

POINT 1 使う時は必ず換気!

- ガスが燃えるためにはたくさんの空気を必要とします。
- 室内でガス器具を使う場合は、換気扇を回し、窓を開け**十分に換気**してください。
- 換気が不十分だと不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)を発生する恐れがあるため、大変危険です。大型湯沸器を室内で使用する場合は、**必ず給気口(空気取入口)と排気筒(煙突)を設置**してください。
- 排気筒の点検はこまめに実施しましょう。
- 点火時やご使用中に火が消える場合は、安全装置が作動している可能性があります。直ちに使用を中止し、ガス器具の購入先やLPガス販売店、または保安機関にご連絡ください。(連絡先は表紙に記載しています。)



換気扇



POINT 2 ガス栓の状態を確認

- ガス栓は**全開で使用し、使用後は完全に閉めてください。**
- 外出する時や、おやすみ前にはガス栓・器具栓が完全に閉まっていることを確認してください。
- 長期間留守にする場合は容器バルブを閉めて、販売店に連絡してください。
- 配管や、ガス栓をアース代わりに使用しないでください。
- ガス機器(コンロなど)に接続されていないガス栓は、絶対に開けないでください。**



- 使用していないガス栓には、必ずゴムキャップをつけてください。



POINT 3 誤開放防止には、「ガス栓カバー」

- ガス栓による事故の8割以上が、燃焼器具が接続されていないガス栓のつまみを間違えて開けてしまう誤開放によるものです。未然に防ぐために「**ガス栓カバー**」を装着しましょう。

POINT 4 点火・消火は必ず目で確認

- 点火・消火は**必ず目で確認**してください。
- ガス機器の近くに燃えやすい物を置かないでください。
- ガスを使用している時はその場を離れないでください。**やむを得ず離れる場合には、必ず消火し安全を確認してください。**

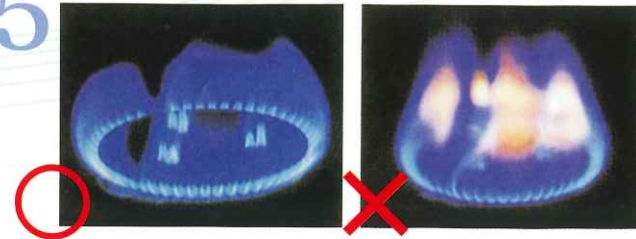
※Siセンサー(調理油加熱防止装置・立ち消え安全装置・消し忘れ消火機能)コンロのご使用をおすすめします。
※マッチにて点火する場合には、マッチを先に点火してから器具栓を開いてください。



Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

Siセンサーコンロとは、お客様に安心(Safety)、便利(Support)、笑顔(Smile)を約束する、賢い(Intelligent)安全センサーを全口に搭載したコンロです。

POINT 5 点火したら炎の色をチェック

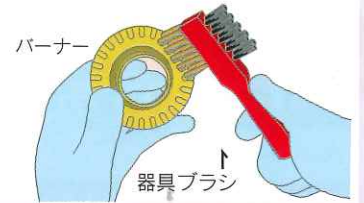


- 炎はいつも「**青い炎**」の状態で使用してください。
- 赤い炎の状態は、「不完全燃焼」**(空気が不足したまま燃えている状態)を起こしています。



〈ガス器具のお手入れ〉

- ガスバーナーの目詰まりは、不完全燃焼の原因となります。時々、器具ブラシなどで掃除してください。
- ガス器具のお手入れなどで、ネジなどを外す必要がある場合は、自身でお手入れせずに、必ずLPガス販売店へご連絡ください。



POINT 6 小型湯沸器をご使用する場合

- 排気のフィンが、ほこりなどで目詰まりしていないか確認してください。
- 不完全燃焼防止装置などの安全装置付き器具を使用しましょう。
- 小型湯沸器をお風呂に使ったり、シャワーとして使用することは絶対におやめください。**



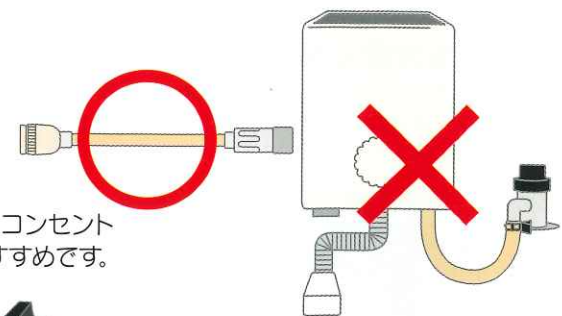
POINT 7 安全は日々の点検&お手入れから 〈ゴム管は時々点検し、早めに交換してください。〉

- 適合するLPガス用ゴム管または、専用ホースをご使用ください。
- ひび割れなどが発生しているゴム管は、使用しないでください。
- ゴム管は、ガス栓の赤い線の所まで差し込んで、ホースバンドでしっかりととめてください。



- 三つ叉は危険なので、絶対に使用しないでください。

- 脱着が簡単で、確実なコンセント型の専用ホースがおすすめです。



ゴム管からのガス漏れの点検

石鹸水を塗り、泡が出るかでわかります。(泡が出た場合はすぐに取り替えてください。)
また、点検後はきれいに拭き取ってください。



固定式の燃焼機器(例:湯沸器や風呂釜など)とガス栓の接続にゴム管を使用することは法律で禁止されています。直接ねじ接続か、ねじ接続専用ホースで接続してください。

安全 対応

もしもの時には

もしもの時に、すべきことをチェックしてね。



火災・地震・台風・洪水が起きた時・・・容器のバルブを閉めよう！

◆火災の場合

- 容器バルブを閉め、消防隊員などに容器(ボンベ)の位置を知らせ、後の処理を頼んでください。



◆地震の場合

- まずは身の安全を確保し、揺れがおさまったら元栓・器具栓を閉め、火をすべて消し、容器バルブを閉めてください。



◆台風・洪水の場合

- 容器バルブを閉め、容器(ボンベ)が転倒・流しないうち、しっかり固定されているか確かめてください。



火気は絶対に使用禁止

ガスが漏れてしまった時・・・
すばやく外に追い出そう！

火花が出てガスに着火する恐れがあります。



戸や窓を大きく開けて下さい

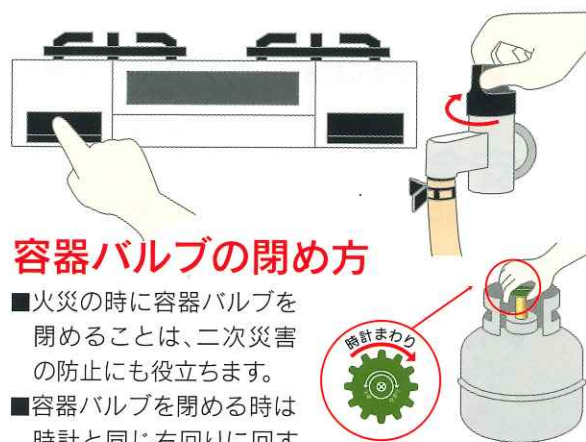
扉や窓を十分に開けて、風通しを良くしてください。
※LPガスは空気よりも重いので、低い所にたまったガスに注意してください。



- 換気扇は絶対に回さないでください。(回っている場合はそのままにしてください)
- コンセントの差し込みやスイッチに触れないでください。
- 室内の火を全部消し、マッチを擦ったり、タバコを吸ったりしないでください。

緊急時の対応

- ★ 電気のブレーカーも落としてください。
- ★ 全てのガス栓・器具栓・容器バルブをしっかり閉めてください。



容器バルブの閉め方

- 火災の時に容器バルブを閉めることは、二次災害の防止にも役立ちます。
- 容器バルブを閉める時は時計と同じ右回りに回すと閉まります。

再びガスを使用する時には

必ず販売店または保安機関に連絡し、点検を受けるまでガスを使用しないでください。
(連絡先は表紙に記載しています。)

連絡の際は、住所・氏名・電話番号・状況などをお知らせください。



安全・安心の機能満載

いち早く危険を察知。備えあれば、やっぱり安心。

＜おすすめ＞ 安全装置付き器具

1 立ち消え安全装置付きコンロ^{※1}

炎が消えると安全装置が働いて、自動的にLPガスを止めます。

2 調理油加熱防止装置付きコンロ^{※1}

天ぷら鍋などが熱くなりすぎると、自動的にLPガスを止め、加熱による火災を未然に防ぎます。

3 便利な調理機能

火力を自動調整したり、タイマーをセットすれば、時間経過後、自動的に消火します。

4 ごとく

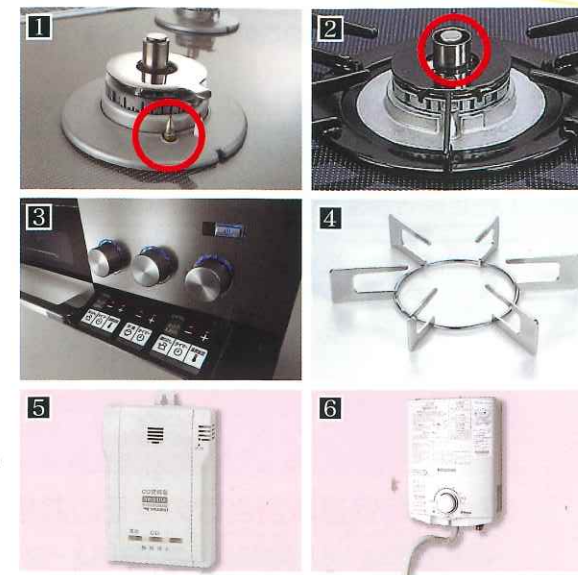
コンロの「ごとく」などの付属品は専用のものを使用してください。専用のものでなければ、一酸化炭素が発生することもあります。

5 一酸化炭素(CO)警報器

不完全燃焼で発生した一酸化炭素(CO)を感知し、ブザーや音声で知らせます。

6 不完全燃焼防止付き小型湯沸器^{※2}

不完全燃焼が発生した場合、ガスを自動的に止めます。



※1 平成20年10月1日より装置が義務化されています。

※2 不完全防止装置にの付いていない風呂がま及び小型湯沸器は、不完全燃焼による一酸化炭素(CO)中毒事故が発生する可能性がありますので、早めに交換してください。

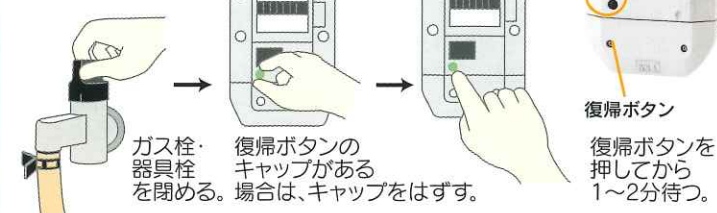
ガスの見張り番 マイコンメーター

ガスの流れや圧力などに異常が発生した際、自動的にガスの供給を遮断し、警告を表示する機能を持った保安ガスメーターです。

こんな時、遮断します。

- ゴム管のはずれなど、ガスが大量に流れた時
- 器具の消し忘れなど、ガスを長時間使すぎた時
- ガスの使用中に、震度5相当以上の地震を感知した時
- ガス漏れ警報器連動の場合、警報器が作動した時

復帰の手順



復帰しない場合は復帰を繰り返さず、LPガス販売店に連絡し、点検を受けてください。

LPガス用器具の表示

新しい器具を使用する時は、LPガス専用の器具であることを確認してから使用しましょう。(都市ガス用器具は使用できません。)
使用前に取扱説明書を読み、また、器具本体に表示してある注意を確認してご使用ください。なお、保証書はなくさないように大切に保管してください。



小型容器の取り扱い

- 容器(ボンベ)が倒れないように平らな場所に置いて、直射日光や火気を避けてください。
- 横に寝かせて使用しないでください。
- 使用後は容器バルブを閉め、風通しの良い屋外で保管してください。
- 不要となった容器は、必ず販売店に返却してください。



ご存知ですか!?「長期使用製品安全点検制度」

平成21年4月から、消費生活用製品安全法が改正され、「長期使用製品安全点検制度」がスタートしています。同制度は、経年劣化による重大事故のおそれがある以下の製品を特定保守製品に指定し、点検を促すことで事故を防止するためのものです。特定保守製品をご購入された場合は以下の手続きを行ってください。

● 特定保守製品

- 屋内式ガス瞬間湯沸器（ガス給湯暖房機含む） ● 屋内式ガス風呂がま
- 石油給湯機 ● 石油風呂がま ● FF式石油温風暖房機
- ビルトイン式電気食器洗機 ● 浴室用電気乾燥機

特定保守製品を購入した場合の手続き

①説明

購入店から点検制度の説明を受けましょう。

②所有者登録

所有者票に必要事項をご記入の上、購入店に渡すか、メーカーに郵送し、登録しましょう。

③点検

点検時期が来ると、通知が届きます。メーカーに点検を依頼しましょう。

※点検費用は有料となります。

屋内式ガス瞬間湯沸器



屋内式ガス風呂がま



平成21年4月より前にご購入された製品も可能です。詳しくはメーカーなどにお尋ねください。

LPガスを業務用にご使用のみなさまへ

LPガス保安連絡担当者の選任のお願い

- 3号(3立方メートル毎時)以上のLPガスメーターが取り付けられており、従業員が10名以上いる料理店・旅館・ホテルなどでは「LPガス保安連絡担当者」を選任して、販売店へお知らせください。

LPガス保安連絡担当者の役割

- LPガス販売店との連絡窓口になってください。
- LPガスの使用上の注意事項を従業員みなさんに徹底してください。
- 始業時・終業時にガスメーターの指針やガスの元栓・器具栓のチェックをしてください。
- ガス漏れなどの緊急時におけるお客様の避難誘導などについて、あらかじめ対策を講じてください。

安全についてのお知らせ

- 業務用厨房でのガス事故の被害は、時に第三者にも及びます。
- 業務用厨房ガス機器は、ガス消費量・使用頻度が多く劣化が進みやすいことから、高濃度のCO(一酸化炭素)が発生する可能性があります。
- 換気が不十分だとCO中毒を起し、最悪の場合、死亡事故にいたるおそれがあります。
- 業務用厨房機器は、立ち消え安全装置や不完全燃焼防止装置が付いてないものが多いため、注意が必要です。使用している燃焼器の安全装置の有無を確認するとともに、下記のような機器・警報器を導入しましょう。

ガス漏えい

【主な原因】

- 点火操作の繰り返しや未着火。
- ガス栓や器具栓の誤開放。
- 燃焼器具の劣化。

【防止の為に機器・警報器】

- **立ち消え安全装置付き燃焼器**
ガスの炎が消えると、自動的にガスをストップさせます。
- **ガス警報器**
ガス漏れをブザーや音声で知らせます。

LPガスのことなら何でもご相談ください!

愛媛県エルピーガスお客様相談所 (平日8時30分~17時)

0120-256678

(一社)愛媛県LPガス協会内
松山市千舟町六丁目2-8(千舟T.Sビル)



本誌は環境配慮型植物性インキにより印刷されています。

LPガス
人と地球にスマイルを